



# 校長室だより 足立区立第九中学校

第63号 平成28年5月17日発行 長塚琢磨



## 【大成功の生徒総会】

5月14日（土）に厳粛かつ活気にあふれた生徒総会が行われました。“挨拶の絶えない元気あふれる九中”をモットーに、生徒会長の「全生徒九中づくりをはじめます。」の言葉でスタートし、生徒会や各委員会の提案を受け、全生徒が真剣に審議し、これからの九中の方向を決定しました。

生徒の取り組む態度、正しいことを進める厳しい目、九中をよりよくしたいという純粋な心が会場にあふれ、校長として大変たのもしく思いました。



生徒総会の様子

## 【たくましい九中生に期待】

第1学年は、明日（5月18日）から魚沼自然教室があります。自然の素敵さを知るとともに、自然の恵みに感謝する心や仲間との友情を深めてほしいと考えています。

また、運動会まであと一ヶ月を切りました。運動会は学校における最大のスポーツの祭典であり、学校のオリンピックです。運動会をとおして体力の向上だけでなく、クラスの団結力の向上や集中力、思いやりの心なども高めてほしいと考えています。

中学生は、身長や筋力、脳の発達も著しい時期と言われています。「早寝・早起き・朝ごはん」といわれますが、生徒一人一人が素敵な力を発揮するために、正しい生活リズム、栄養、運動を大切にしようご家庭におきましても指導をお願いいたします。

※  
は、中学生というだけで、名前が書いてありませんでした。

腕  
腕をみた  
あの頃の腕とずいぶん違う  
ありがとう中学生生活  
腕ばかりでない  
心もずいぶん太くなった  
叱られて泣いた  
うれしくて泣いた  
この腕をみてまた泣いた  
この腕なら  
何かができるぞと思った

腕  
〈ある中学生の詩〉

## 【学校公開への御参加、ありがとうございました】

5月14日（土）に学校公開を行いました。生徒は様々な人から見られて中学生としての自覚が高まります。教育は、学校・家庭・地域が一体となってこそ効果が高まります。生徒の頑張っている様子を御覧いただき、褒めていただければ幸いです。

- 〔御意見〕
- ・ 1年社会科は、とても楽しそうに、かつ集中して皆さんが勉強していました。他のクラス、学年ものぞかせて頂きましたが、皆さん落ち着いて取り組んでおられ感心しました。
  - ・ 英語の先生の発音がすごくきれいだった。2・3年生の階段を昇った所の資格試験合格者や進学に向けての補習課題など大変有意義であると感じた。
  - ・ 落ち着いて学習しているようで安心しました。



## 【九中を輝かせる支援に感謝】

### 《足立九中後援会定期総会の開催》

平成28年5月7日（土）午後1時30分から定期総会が開催され、多くの皆さんが集まってくれました。皆さんからは、最近の九中生の態度の素晴らしさ、スポーツや文化面での活躍などを誇りに思い、九中のためなら心から支援すると話してくださいました。



九中後援会定期総会

校長としては、大変ありがたいとともに、期待に応える責任を感じました。九中の教職員が一丸となり、家庭と連携して、さらに素敵な九中に発展させることができるよう、努力してまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

### 《PTA総会の成功》

平成28年5月10日（火）午後5時30分からPTA総会が開催されました。御多用の中にもかかわらず、役員の皆様や御出席くださった保護者の皆様に心より御礼申し上げます。

本年度の活動方針として、地域・学校・家庭が連携して「願いはひとつ、子どものために！」というスローガンの基に様々な取組を行うことが承認されました。小山PTA会長を中心とし、シンプルで明確な方向性を示したスローガンが、全ての保護者や地域の皆様に広まり、九中がさらに発展していくよう頑張りたいと考えていますので、よろしくをお願いいたします。

## 【全校終礼：生徒の活躍にエール】

5月16日（月）に全校終礼がありました。部活動など様々な面で努力してきた成果が形として現れ、多くの生徒を表彰することができ大変うれしく思っています。

校長として、生徒の日頃からの生活態度や努力を高く評価するとともに、マイケル・ジョーダンの話（コラム参照）を例に、地道な努力が重要であり、一人一人には無限の可能性あることを伝え、今後も個人としてまたチームとして頑張るようエールをおくりました。



部活動の表彰（おめでとう！）

女子バスケットボール部、女子バレーボール部、女子バドミントン部、陸上部

### コラム：〔終礼での話〕マイケル・ジョーダンの素晴らしさから学んだこと

もう20年位前になりますが、当時シカゴ・ブルズに所属し、平均得点NBA歴代1位でバスケットボールの神様といわれていたマイケル・ジョーダンに会うことができました。

そのときに、ある記者が、「世界一になる練習とはどんな練習か教えてください。」と質問しました。ジョーダンは、とても丁寧に「プロになったばかりの頃は、取材に来ると、カッコいい練習を考えた。でも、そのうち取材など関係なく（気にせずに）自分の練習を集中してできるようになり、それを続けていたら結果として世界一になっていた。」と答えていました。

私はドキッとしました。人に対して丁寧に接する豊かな心、地道に努力すること、集中して自分の課題に取り組むことの大切さを改めて確認しました。生徒の皆さんは挨拶や礼儀正しい態度の重要性を知っています。皆さんがこれからも、（勉強、スポーツ、文化など）何事に対しても、自らの課題を確認し、地道に努力することで、自らの可能性を大きく広げていくことを期待しています。